



ひばり 9 1月号

令和8年1月9日(金)
府中市立府中第九小学校
校長 日野 正宏
府中市立府中第一小学校(巡回校)
校長 宮内 和夫
特別支援教室「ひばり」

3学期のひばりが始まります

新しい年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬休みに経験したことや新しい年に向けた思いを、子供たちから聞けるのを楽しみにしています。

3学期は、これまでの取組を振り返りながら、一人一人の「できること」「頑張っていること」を確認していく期間です。焦らず、比べず、それぞれの歩みに寄り添いながら、一人一人が自分の成長を感じ、自信をもって進級、進学に向かえるように指導を行っていきます。

保護者の皆様には、今学期もひばりの指導へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

1月～3月の予定



- 1月 8日(木) 始業式
- 13日(火) 3学期指導始まり
- 26日(月) 一小振替休業日(九小指導あり)
- 2月 24日(火) 九小振替休業日(指導なし)
- 3月 16日(月) 3学期指導終わり
- 10日(火)、17日(火)～24日(火)
個人面談期間
- 24日(火) 修了式
- 25日(水) 卒業式

面談の詳細は
後日お知らせします。

お知らせとお願い

○連絡ファイルについて

3学期も在籍学級、家庭、ひばりの三者で回覧していきます。毎回ご確認いただき
指導日に持たせてください。

通室する際の「持ち物」として、子供たちにも意識させています。ご協力をお願いいたします。



個人面談ありがとうございました

12月16日(火)～23日(火)、保護者の方と2学期末の面談をさせていただきました。学校やご家庭でのお子さんの様子や今後の目標など、様々な情報を共有することができました。来年度も見据えながら、3学期の指導に生かしていきます。

ご多用のところ、日程を調整していただき、ありがとうございました。

～ 1月の学習予定～

3学期は、上学年・下学年ともに、これまで学習してきたことを活用しながら、課題に取り組んでいきます。グループでは、友達と話し合ったり相談したりしながら問題を解決していく学習を行い、日常でのよりよい関わりにつなげていきます。課題別では、一人一人が自己理解を深めながら、次の学年への見通しをもてるように指導していきます。

主な学習活動	
下 学 年	○3学期のめあて：「協力」 ○冬休みの話（フリートークを経験しよう） ○こんなときどうする？（物の貸し借り）※工作 ○言葉でやり取りしよう
上 学 年	○3学期のテーマ：「気付く」から「変える」へ ○冬休みクイズ&トーク ○ひばり・ザ・ミッション（小集団での相談・協力）



季節の移ろいを、日常の中で感じよう

皆さんは、どんなときに季節の移り変わりを感じるでしょうか。道端で香る花の匂いで春の訪れを感じることもあるかと思います。季節の移り変わりを感じることは、生活・心・学びの面で、メリットがたくさんあります。しかし、季節の変化は、気温、服装、植物、行事などの複数の要素をまとめて感じ取る必要があり、難しい場合もあります。また、興味がなかったり、季節の変化を感覚的には感じ取りにくかったりするお子さんもいます。



ひばりでは、みんなと楽しむ体験を通して、視野を広げて身の回りのことへ関心をもたせる工夫を取り入れています。主に低学年の指導の中で取り組む、「季節の言葉集め」も、その工夫の一つです。見たもの、食べたもの、感じたことなどを共有し、季節や日本の風習に関心をもたせることがねらいです。

ご家庭で取り組む際に、特別なことは必要ありません。日常の中で、食事や買い物、会話の中で季節の移り変わりに意識を向けてみてはいかがでしょうか。



旬の行事

<鏡開き>

1月11日は鏡開きの日。年神さまに供えたお下がりとして、木槌や手で鏡餅を割っていただきます。餅を食べると力持ちになるからと、もともとは武家の風習だったとか。古くから伝わる風習などを話題にしながら、お餅を食べるのも良いかもしれません。
 「日本の72候を楽しむ-旧暦のある暮らし-
 文：白井明大 絵：有賀一広」より

<生活面>

- ・服装、体調管理
- ・季節の変わり目に予防
- ・日照時間や気温への対応

<見通し・予測>

毎年繰り返される四季の変化により、学校生活、社会生活のサイクルの見通しが立つようになる。

<学習面>

- 実体験があると、教科の理解が深まる。
- ・理科（天気、生き物、植物）
 - ・社会（行事、文化）
 - ・国語（季語・表現）

<心・感情面>

- ・「きれい」「気持ちがいい」などの感覚的な喜び
 - ・行事や自然を通じた安心感・区切り →「今がいつなのか」を感じ取れる安心感
 - ・同じ体験をすることでの人とのつながり
 - ・社会性・コミュニケーションへのつながり
- 「寒いですね。」は雑談や共感のきっかけ→将来の対人関係にも役立つ

